

## 「風流踊」のユネスコ無形文化遺産登録の決定について

### 1 趣旨

ユネスコ無形文化遺産保護条約第17回政府間委員会において審議されていた、永井の大念仏剣舞が属する「風流踊(ふりゅうおどり)」について、審議の結果、令和4年11月30日に「ユネスコ無形文化遺産代表一覧表」へ「登録」することが決定されたので、その概要について説明するもの。

### 2 永井の大念仏剣舞の概要

名称	保持団体	所在地	国指定年
永井の大念仏剣舞	永井大念仏剣舞保存会	盛岡市永井	昭和55年(1980)

永井の大念仏剣舞は回向(えこう)踊りで、音頭は「南無阿弥陀仏」を基本にした念仏歌である。踊りは道行きから始まり、入羽(いりは)、中羽(なかは)、引羽(ひきは)と続き、中入りの後に大笠(だいがさ)振り、廻り胴と進み、最後に礼踊りで終わる。円形の台の上に三階の仏塔を載せた笠は阿弥陀堂を表し、この大笠を頭に被り、大きく振りながら踊る笠振りは印象的である。

### 3 登録の概要

#### (1) 構成

国指定重要無形民俗文化財である風流踊41件(24都府県、42市町村)  
41件の中に、盛岡市の「永井の大念仏剣舞」が含まれている。

#### (2) 盛岡市の状況

今回が第1例目のユネスコ無形文化遺産登録となる。

#### (3) 岩手県の状況

風流踊は県内第4例目となる。

①早池峰神楽(花巻市)・平成21年

②来訪神 仮面・仮装の神々(吉浜のスネカ(大船渡市))・平成30年

③伝統建築工匠の技 木造建造物を受け継ぐための伝統技術(漆掻き技術(二戸市))・令和2年

④風流踊(永井の大念仏剣舞(盛岡市)、鬼剣舞(北上市・奥州市))・令和4年

### 4 その他

令和5年2月26日に、盛岡劇場で開催する「もりおか郷土芸能フェスティバル」に「永井の大念仏剣舞」が出演予定